

■児童・生徒の学力の状況

「全国学力・学習状況調査」の結果から、全国平均と比較して、国語は8.1ポイント、算数は11.6ポイント上回った。しかし、国語の漢字の習得や算数の自分の考えを表現することに課題が見られた。また、質問紙からは、学習意欲に関しては、全国よりも低い傾向がうかがえる。また、学びの自己調整及び自己有用感や向社会性が全国と比べても低くなっている。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題

- 目的から逆算して手段を選択するメタ認知能力
- 他者が納得する論理性をもって考えを言語化・記述する力
- 自己評価を客観視する態度
- 高い学力を自己有用感や向社会性へと結びつけ、個の学びを他者との協働

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

自律心をもち「学び・心・体」の自立を目指す子を学校の教育目標とし、「自律する心とは自分で決めた規範や基準に従い、自分の意志により行動を統制・制御する心」、「自立とは自分自身で判断し、行動に移すこと」を目指す。
 ・児童にとって「わかる・できる・楽しい」授業のため、読み解く力を基盤にした「板橋区授業スタンダード」「板橋区授業スタンダードS」に基づく授業実践を通して確かな学力を育成する。
 ・板一中学びのエリアにおいて選択・決定・調整による深い学びについて授業を公開し、共同して研究を進める。

■確かな学力の育成に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底、及び板橋区授業スタンダードSの取組	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現	総合的な学習の時間との連携
板橋区授業スタンダードを活用して、「1学習課題・めあての設定→2児童・生徒が自力で問題解決→3考えを共有し、集団で問題解決→4まとめ・振り返り」という基本の授業の流れに沿って授業を進めながら、学力の定着を図る。また、児童・生徒が、自分に合った学習内容、方法、ペース、順序を自己選択、自己決定し、学びを自己調整しながら進める学習過程「板橋区授業スタンダードS」を推進する。	ICTを活用し、子供一人の学び方に応じた支援を行い、自己選択・自己決定・自己調整の場を広げる。校内研において「自分の思いや考えをもち、表現できる児童の育成」を研究主題に据え、各教科において、調べ方や学び方を子供自身が選べるようにする。また、話し合い活動や考えを共有する活動で積極的にICTを活用し、友達の考えを共有して自分の考えと比べたり、新たな考えを構築したりするような場面を多く設定する。	板橋のiカリキュラムを活用し、各教科の学びを基に、生活科や総合的な学習の時間の学習を、ハッピーロード商店街をはじめ、地域とのつながりを生かした学習を主にカリキュラムマネジメントを行う。町探検や店員体験、地域の歴史について聞くなどの学習を通して、地域や家庭と連携しながら児童自身が自分たちでできることを考え、実践する力を育成する。

■MIRAI SCHOOL いたばし-教育ビジョン2035- -アクションプラン2028-の実現に向けた具体的な取組

保幼小接続・小中一貫教育の推進	豊かな心と健やかな体の育成	多様な教育的ニーズへの対応
○郷土愛を育成するために教科横断的・探究的な学習を進めながら地域の公共施設、商業施設等への関心を高める。 ○読み解く力の基礎的読解力を基盤とした、選択・決定・調整による深い学びを実装し、板一中学びのエリアで小中一貫して確かな学力を育成する。 ○小学校生活のよりよいスタートが切れるように、近隣の幼稚園・保育所との交流を図るとともに、新しい学校生活に円滑に適応していくためにスタートカリキュラムを基に合科的指導や弾力的な時間割を編成する。	○「特別の教科 道徳」において内容項目「親切、思いやり」を重点指導項目として取り扱い、人権教育も含め、児童が多様な他者の立場や気持ちを思いやりながら関わる態度を育成する。 ○発達支持的生徒指導を重視し、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を判断し実行できるよう、計画的に生活目標を設定する。目標の振り返り等を通して、児童自身が自律的・自発的に判断し行動できるような生活指導を行う。 ○いじめ・不登校対策委員会を中心に、「板橋区いじめ防止対策基本方針」に基づき、組織的にいじめ問題の未然防止と早期発見・早期対応をめざす。	○月に1回の特別支援校内委員会において、特別な指導を必要とする児童について、学校生活支援シートや個別指導計画を活用して担任を含めた関係教職員で情報共有し、指導方針を決定する。また、特別支援教育コーディネーターを中心に、在籍学級担任、SC、SSW、特別支援教室巡回教員、特別支援教室専門員が連携を密にし、児童及び保護者への適切な支援を行う。 ○縦割り班活動、鼓笛隊活動等により自分らしく安心して過ごせる児童の居場所づくりを推進するとともに、校内別室を活用し、教室での学習が苦手な児童への対応を図る。